

Student Paper Contest 2018 参加報告書

群馬大学 理工学部 電子情報理工学科
小林研究室 学部 4年 阿部優大

1.参加学会名称

IEEE Seoul Section Student Paper Contest 2018

<http://sites.ieee.org/seoul/paper/>

2.開催日

2018年11月24日

3.開催地

Hongik University, Seoul, Korea

4.発表表題

Frequency Estimation Sampling Circuit
Using Hilbert Filter and Residue Number
System



5.学会参加報告

この度 IEEE Seoul Section Student Paper Contest に参加し、韓国ソウル市に4日間滞在した。この学会に参加した経緯としては IEEE TOWERS での受賞者が本学会に招待されたということである。私にとって初めての海外旅行であったにもかかわらず、一人での渡航となりとても不安であった。開催地は弘益大学で、弘大という学生街に位置し、美術・デザイン系の学生が集中しファッショナブルな地区となっている。開催当日、朝起きると雪が降っていた。韓国の初雪の日にあたりとても寒かった。



弘益大学



初雪

学会では 30 件の口頭発表と 7 件のポスター発表がされた。私は 1 時間のポスター発表を行った。高い周波数の信号をヒルベルトフィルターと中国の剰余定理を用いて、複数の低周波サンプリング回路から推定する回路の成果発表である。英語での発表は初めてであり、質問が聞き取れても、英語で伝えたいことを言う難しさを実感した。表彰式では、招待された日本人の紹介をして頂き、一人ずつ自己紹介をする場面があった。(無茶ぶり)そこでも話したいことは思い浮かんでも英語が出てこないという状況になった。軽い自己紹介の後に今回の学会での感想を聞かれ、“I was excited!” と大きな声で言って笑いで乗り切った。韓国の方々の素晴らしい発表を聞いたり英語でのコミュニケーションを行ったりすることで、様々な刺激を受け、自分自身成長する良い機会となった。



一緒に参加した筑波大学の方々 (筆者は右から 2 番目)

6.謝辞

この度は海外で学会発表の機会を与えて頂きました小林春夫先生、会計手続き等でご協力を頂きました石川信宣さん、発表や渡航に関してアドバイスをくださった研究室の皆様、本学会参加にあたり多大なるご支援を賜りました IEEE TOKYO Section の皆様に深く感謝申し上げます。



表彰式の様子